

おうらまち

議会だより



平成24年6月定例会

高島幼稚園七夕まつり

一般質問 【10人の議員が町の考えを問う】

岩崎律夫議員、田部井健二議員、本間恵治議員、神谷長平議員
塩井早苗議員、坂井孝次議員、原 義裕議員、大野貞夫議員
小島幸典議員、小沢泰治議員

- 可決された議案…………… 2
- 一般質問…………… 2～11
- わたしのふるさと等…………… 12

No 132

6月定例会

可決された 議案

尾榮一さん（篠塚）を引き続き再任することに同意しました。

【財産の譲渡】

邑楽町大字中野字天王2947番地の土地
自治会の公民館用地として地域振興に活用するため、天王元宿自治会に無償譲渡しました。

【報告】

西邑楽土地開発公社経営
状況の報告

平成24年度事業計画・予算及び平成23年度決算に関する報告がされました。

固定資産評価審査委員会委員の選任
任期満了となる固定資産評価審査委員の選任について、松原茂雄さん（中野）を選任することに同意しました。

【契約の締結】

石打町営住宅新築建築工事（一期工事）
契約金額（消費税込）
2億299.5万円
契約の相手方
邑楽町赤堀
株式会社 徳川組

【条例・規約の改正】

住民基本台帳法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

群馬県後期高齢者医療広域連合の規約変更

外国人登録法の廃止等に伴い関係条例を改正し、また規約を変更しました。

【専決処分の承認】

専決処分の承認（邑楽町
税条例の改正）
専決処分の承認（邑楽町
都市計画税条例の改正）
専決処分の承認（国民健
康保険税条例の改正）
専決処分された条例改正
について承認しました。

【専決処分の承認】

専決処分の承認（邑楽町
都市計画税条例の改正）

専決処分の承認（国民健
康保険税条例の改正）

【人事案件】

監査委員の選任
識見を有する委員に、増

一般質問

一般質問は、6月12日及び13日に行われました。質問には、10人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

災害廃棄物広域処理関係の質問について

6月26日に開かれた環境大臣記者会見で、岩手県の可燃物広域処理に一定のめどがついたとの発言がありました。これをを受けて6月27日、大泉町外二町環境衛生施設組合では管理者・副管理者会議を開催し、がれきの受け入れを中止することとなりました。

教育施設等について

岩崎律夫議員 人口減少がとまらない。町の出生数の推移は、平成元年に261人、平成23年には169人、40%近い減少である。教育施設等についても、人口ピーク時の6割サイズに合った統合・整理・解体・廃棄も視野に入れて、スクラップ・アンド・ビルドを総合的に検討すべき時期にきている。幼稚園について



子どもの減少が懸念される高島幼稚園と高島小学校

は、現在公立3園あるが、定員540人に対し、318人の園児で6割に届かない。3園を2園に集約したらどうか。

教育長 高島幼稚園、中野幼稚園を統合するという考え方と、もう一つは高島幼稚園と北保育園を幼保一体化にして、国の方針を見据えて園舎の改築をしていくという考え方もある。

岩崎律夫議員 中学校では、生徒数が昭和59年に邑楽中で30クラス1243人であったが、現在では邑楽中と邑楽南中の合計で781人である。また一方では、希望する部活ができない状況にある。邑楽中に統合したらどうか。

教育長 施設設備の問題や部活動の問題、両校を比べると本当に不公平だという声が保護者からも聞こえてくる。県が少人数プロジェクトを出して、学級の定数が少なくなり、教室を必要としている。今の邑楽中の教室数では、少数指導ができなくなってしまう現状がある。町当局と十分に協議して考えていきたい。

岩崎律夫議員 小学校では、4校で児童数が現在1511人、5年後には1300人になる予想である。大きな方向としては、4校を3校にまとめていくべきだと考える。空いた1校は、児童館であるとか、活用を考えればと思うが。

教育長 中学校の再編問題のめどがつけいたら、町当局と協議を重ね、対応していきたい。

声が保護者からも聞こえてくる。県が少人数プロジェクトを出して、学級の定数が少なくなり、教室を必要としている。今の邑楽中の教室数では、少数指導ができなくなってしまう現状がある。町当局と十分に協議して考えていきたい。

岩崎律夫議員 保育園では、一時預かり保育、子育て支援など保育の仕事が広がってきている。北保育園については、老朽化が進んでいることを認識したうえで、こども園の検討を進めるべきだと思うが。

町長 保護者の要望も多くなっており、統合的なこども園的なものは必要性がある。

岩崎律夫議員 保育園・幼稚園・小学校・中学校の見直しをしていくべきだ。特に保育園・幼稚園については、こども園の検討もある

災害がれき受け入れについて

現状に合った施設づくりは大切

だろう。民営化の検討もしてほしい。ぜひグラウンドデザインを描いて、当然お金の面もあわせて、半年以内くらいに提案をいただきたい。

町長 教育施設、保育園等についても、現状に合った施設づくりは、十分大切なことだと思っている。

岩崎律夫議員 1年以内くらいには、まとめられるのか。

町長 1年以内にまとめた

田部井健二議員 6月18日を皮切りに、災害廃棄物広域処理に係る現地視察住民報告会を開催すると聞いている。その報告目的、開催目的を聞きたい。

田部井健二議員 町長が町民に意見を聞きたいという話だが、私は町長が町民に意見を聞く前に、町長の意見をここで聞きたい。過日の全員協議会の中で町長は、仮に理解をしていたくない反対者が出れば、災害廃棄物の処理は難しいと話しているのか、いないのか。

町長 最近になっていろいろと状況が変わってきている。昨日も群馬県と岩手県で、災害廃棄物の広域処理

に関する基本協定の締結がされた。一つの基準が示されたという考え方から、いろいろな住民の方から意見があると思うが、反対の人がいた場合には、説明会を繰り返し行う中で理解を求めていく。

田部井健二議員 先の全員協議会の中で、町民の意見を聞き理解が得られればという話であった。仮に理解が得られない、反対者があれば試験焼却もしないと言った。もう一度確認する。反対者が出れば試験焼却もしないし、がれきは受け入れられないのか。

田部井健二議員 ということは、6月1日の全員協議会から10日余りで判断が変わったという理解でよいのか。全員協議会の中では確かに町民から反対者が出れば私は試験焼却はしないし、受け入れもしないと言った。今話を聞くと、前に進め

ていきたい。では、受け入れの方向に体の向きが変わったのか。

町長 全員協議会の中で、一人でも反対がいたら、やるのかやらないのかとの質問があった。そのとき私は、反対者がいれば、受け入れも試験焼却もできないと申し上げたのは事実である。

災害廃棄物受け入れについて

本間恵治議員 災害地域のがれきの視察を行ったが、何を目的に行ったのか。

町長 岩手県大槌町の被災地を視察してきた。環境大臣から群馬県知事に、8万3000トンの災害廃棄物を受け入れてほしいとの要請があり、今後その問題をどう考えていくのかというところで視察した。

本間恵治議員 町長は当初、反対者がいれば受け入れはしないと言っていた。先ほどの議員への答弁で、受け

入れている状況が変わって、私が6月1日のときと考える方が、今変わったと言わざるを得ない。

その他の一般質問
・中央公民館の建設について

入れを進めていくとの言葉があったが、どのような考えのもとに、どのような経緯で変更に至ったのか。

町長 私はかねがね慎重にということでも来た。その後国、県の動きもあった。それを踏まえて、受け入れについて考えていくと申し上げた。安全性を求めるとともに、県は基本協定の中で1

銚当たり100トン以下に数値を下げた。私の考え方が変わったというが、そういうことで理解いただきたい。

本間恵治議員 全員協議会の際に、町長は反対者が多いようであればやらないと言っていた。私は町長に「町民に対してそれを推進するのかわからないのか、はっきりした考えを持って説明会に当たらないければ、何の意味もない」と話した。町長は「県が厳しい基準で対応するから今度は推進する」と言った。何か苦情があった場合には、国が責任を持つてくれるのだと。結果的に、町長は自分が矢面に立ちたくないのでは。国や

県が責任を持つてくれるからという考えのもとに、受け入れを進めるといふ気持ちになったのか。

町長 県、国が責任を持つということが明確に示された。大きな災害のあった被災地の一日も早い復興ということも、大事な仕事ではないかということも判断した。

本間恵治議員 町長がリーダーシップをとることが、町民に波及していく。やるかやらないか舵を示すのが町長の役目だ。今後の説明

会では、町民に理解をしていただいて、推進していく立場なのか。

町長 推進するという考え方に立ち、反対される方がいたら、繰り返し説明会を行う中で進めていく。

本間恵治議員 町長は町民に聞かれれば、説得するだけの話ができなければいけないと思う。どのくらい、この放射性物質について把握をしているのか。

町長 理解をいただけないという方がいるなら、今度は説明会ということになる。私も専門的な知識を持っていないので、県を通して日時等を設定し、環境省の専門職員に来ていただいて、説明をしたい。

本間恵治議員 町長の心構えは、推進するのだという考え方のもとに進めていくのか。

町長 そういった考え方で進めていきたい。

その他の一般質問
・人事について

市街地環境整備について (中野都市下水路)



中野都市下水路

神谷長平議員 昨年の6月定例会で質問した、中野都市下水路について、その後どのような調査・検討がなされたのか。

慮し、問題があるのかというところまで調査をした。その後具体的には、まだ話は進んでいない。

町長 溝蓋をかけることによつて、道路が有効に活用できるのではないかとの質問があった。道路として供用を開始するというとなると、車両の加重等も考

神谷長平議員 都市下水路については、改善を過去に2回お願いしている。初めは、町主催の行政説明会が平成20年11月19日に行われたとき、区の代表として改

善をしていただきたく質問をした。その後、平成21年の秋に区の要望事項として、書面で町に改善のお願いをした。都市下水路の全体延長は1558^{メートル}で、そのうちU字溝の部分^が1100^{メートル}ある。70%は蓋がかかっている。蓋のない部分^が約330

神谷長平議員 上流部の排水能力の調査をしたという話だが、既に都市下水路で排水、集水と区域を定めた中で、構造で施工されている。集水面積131^{ヘクタール}の雨水を、この排水路に流す断面が決定されて施工されている。都市計画の事業認可、計画決定もされている状況で、もうその段階は既に終わっている。

町長 都市下水路については、議員が指摘するように、昭和63年4月に事前協議があり、事業認可は同年12月に受けた。下水路の管理・

清掃はもちろん、安全対策のネットフエンス等が一部壊れているのも承知している。これらは、早急に修理をする。十分意見を伺ったので、担当と協議をして進めていきたい。

神谷長平議員 担当と調整して、いつごろまでに整備するのか。確認をさせていただければと思う。

町長 優先度を十分考えた上で、早い時期に進めていきたい。

神谷長平議員 早い時期にというが、具体的に話しが聞ければありがたいが。

早く施工が進むようにしたい

がれき受け入れについて

塩井早苗議員 がれきと言うが、元々は東北の人々が暮らしていた大切な家屋や家財道具、職場の道具や必要物品であった。それががれきの山となつてしまった。この悲しみや苦しみは、想像を絶するものである。「みんなの力で復興を」と、誰もが心から願っている。今、東北以外、日本の3カ所でがれきの受け入れを始めた。試験焼却中のあるところ。そこで、試験焼却結果のデータを示していただきたい。

生活環境課長 県内の吾妻東部で、4月中旬に3日間かけて実施した。被災地から吾妻東部の施設まで運搬し、運搬された時と搬出先での空間放射線量は、毎時

0・05^{ダライ}。がれきに含まれる放射性物質は、大体1ダライあたり40^{ダライ}であった。

塩井早苗議員 有害物質のデータは。

生活環境課長 PCBは、排出基準が1^{ダライ}当たり0・003^{ダライ}とあるが、これを下回る0・0005^{ダライ}未満である。石綿については、被災現地で、空気中の一部分を採取して検査をした。0・2本未満で、大気汚染防止法の1^{ダライ}中10本という基準から比較すると下回っている。

塩井早苗議員 今示されただけでなく、何と462種類もの重度有害物質が含まれている危険性がある。クロホルム、ダイオキシン、ホルムアルデヒド、鉛、水銀等がある。ホルムアルデヒドは、先日、利根川に流出し、取水制限にもなった物質であるため記憶に新しい。これらの化学物質は、まず呼吸器系に作用し、神経毒性を示し、発がん性がある。生態系に徐々に影響

することがわかっており、現在測定することは不可能である。だから怖い。廃棄物の量は、阪神淡路大震災で2000万^ト、東日本大震災で2300万^ト。なぜ今回、全国的に受け入れる必要が生じたのか。

生活環境課長 地形的に沿岸部で傾斜が多く、思った数の焼却施設ができない。内陸部の市町村や民間の施設に処理を委託している。見直し後の廃棄物の処理量が約1700万^ト位で、240万^トの量が不足している。阪神淡路大震災の時は、大阪港湾エリアに大規模な処理場があった。広域処理は3県であった。

塩井早苗議員 がれきの撤去が復興の最大プロジェクトであるにもかかわらず、環境影響評価が課されず、市町村で個別に判断して行われている。反対理由のほとんどは、環境破壊や子ども達の健康面への影響、将来への健康不安である。有害物質についての対策は。

廃棄物については、他の廃棄物と区別し、特別管理廃棄物として取り扱い、専門業者による処理をという国の方針もある。県の基本協定を十分踏まえ、基準をよ

邑楽町の震災対応について

り強固なものとして、十分慎重に対応したい。

その他の一般質問

・交通弱者に対する安全対策を

坂井孝次議員 平成23年3月11日の地震では、観測史上最大のマグニチュード9・0を記録し、死者・行方不明者は1万9880人と報告されている。予想をはるかに超えた地震だったが、「邑楽町地震防災マップ」と「邑楽町地域防災計画」は十分に機能したか。

総務課長 町では地域防災計画に基づき、初期動員をかけた。報道機関、各施設からの情報収集を行い、直ちに被害状況を調査した。翌日も総勢68人体制で、個人家屋等の被害状況を調査した。家屋の被害は1300件に上り、被災家屋の復旧が速やかに進むように瓦等

坂井孝次議員 災害に遭われた人への支援について、3・11の時はいち早く一律2万円の見舞金の支援が行われたが、家屋の補修費に約400万円かかったとされる家主から、「一律2万円のお金ではスズメの涙にもならない」と言われた。厳しい財政下での支援がありながら喜ばれていない現実から、支援検討の必要性を感じる。地域ぐるみの保険加入とかは考えられないか。

総務課長 見舞金については、5月末時点で934件



邑楽町地域防災計画と地震防災マップ

の申請があり、金額では1800万円になる。自治体等が加入する保険はないというところで、現状では個人で対応していただくしかない。しかし、町では災害支援緊急資金融資制度があり、貸付限度100万円まで、その利子補給をしている。また、住宅耐震改修補助制度もある。これらの制度を有効に使うしてほしい。

坂井孝次議員 現在検討されている防災無線の整備と、全国瞬時警報システム「Jアラート」との連携を知りたい。
総務課長 防災無線は、災害発生時に緊急かつ一斉に町民に情報伝達を行うものである。デジタル無線化することによって、震災や台風など災害時の断線による使用不能の状況を防ぐことができる。また、「Jアラート」は、国から発令された警報などを人工衛星を介して、各自治体の無線を自動的に起動させ、音声で各地域住民に知らせることができ

坂井孝次議員 都市直下型

地震の危険性が叫ばれ、大規模な被害が予想されている。火災、家屋の倒壊による死者・行方不明者など、地域単位のきめ細かな対応が必要と思うが、どのように考えているか。

町長としての政治姿勢 (施政)について

原 義裕議員 都市計画マ

スタープランには、町づくりの基本理念は、「住んでい

る人々が学び、働き、憩いを感じ、健全な営みができる場ではなくてはならない」とある。「やさしさと活気の調和したまちおうら」において、行政と町民が一体となった協働の町づくりを

実行していると思うが、具体的に実例を挙げて聞かせてほしい。
町長 「やさしさと活気の調和したまちおうら」を目指し、安全安心な町づくり

防災計画は 年度内整備

町長 本年度末までに邑楽町防災計画を整備したい。作成については年度内、それも早い時期に作成できるように努力したいと思う。

を町民の皆さんをはじめ、各団体の皆さんにお願いしている。具体的には、朝のあいさつ運動ややまびこ運動である。

原 義裕議員 町政懇談会を開き、意識調査・アンケート等を行っているが、「つくっていきます」「推進します」という回答だ。第五次総合計画のアンケートの中で、役場周辺の開発魅力ある中心市街地に整備して欲しいとの声があるが、開発の進捗状況が見えない。

また、土地利用の転換により町を活性化すべきとの意見があるが、邑楽町は農業の町で法のくくりが有るので、できないと否定的だ。

町長 総合計画と都市計画マスタープランの整合性は、保たなければならぬ。役場周辺の開発は先になる。現在では、農業振興面で網掛けが大変厳しい状況になつている。

原 義裕議員 今までの行政は、「やりっぱなし」「聞きっぱなし」が多い。協働の町づくりを推進するのであれば、町政懇談会を開き、意識調査・アンケート等で意見を聞き、吸い上げ、その回答や進捗状況を明確に

素早く出すべきだ。これが、町民参加の協働の町づくりだ。施政方針には、「観光資源を掘り起こし魅力ある観光地、町づくりを行う」とあるが、具体的に聞かせてほしい。

関係する組織の 皆さんと振興を

町長 行政だけでなく、商工会や関係する組織の皆さんに協力してもらおう。「そばの町おうら」として、新聞・メディア等で取り上げられており、行政も応援している。また、「白鳥の飛来する町おうら」の、のぼり旗やイニシャル的なバッジ



白鳥飛来ののぼり旗

も作って、振興を図っている。

原 義裕議員 今年の「群馬デスティネーションキャンペーン」は、町において経済効果はあったのか。

町長 東京へ行き、町をPRして来た。経済効果は特に集計していない。

原 義裕議員 町長がトップセールスとして、交通費

等経費をかけて東京へ行っ

たが、効果がなければマイナスである。また、昨年作った「白鳥飛来ののぼり旗」の経済効果はあったのか。

町長 年に一回白鳥まつりを行い、白鳥を愛する会がお米や町の物産など販売している。また、役場前の池にも白鳥が飛来し、白鳥を見に来る町外の方やシンボルタワーの入場者も、前年に比較すると大変増えた。

は非常に活発にやられている。その拠点としての公民館の必要性については、私の公約の一つとして掲げてきた。ここ数年、箱物をつくることはやめようではないかということが、邑楽町に限らず至るところの自治体でも声が出てきた。しかし、箱物すべてが悪いとは思わない。必要なものにはお金をかけなければならぬ。国の大きなゼネコン型の公共工事、こういう中には非常に無駄が多いと感じている。しかし、邑楽町をうるおすような人間、情操豊かな人間をつくっていく上での文化施設の果たす役割は、非常に大きなものがある。そういう観点で言っている。建設の際に、町長から具体的に15億円から16億円という数字や3000平方メートルという数字も出された。私はこの公民館の必要性は大いに感じるが、今の邑楽町の財政規模ややるべきことの優先順位など、こういうことから考えてみると、ここにこういう膨大な

中央公民館建設問題について

大野貞夫議員 中央公民館建設について、今この必要性の意義について。

会教育活動の拠点整備という観点を踏まえて、これから検討委員会を重ねていく中で、具体的な計画を練っていく。

大野貞夫議員 自治体の仕事はまず、住民の暮らしと命を守ることだ。その上でそこに教育とか文化とか、一つの柱としてあるのが自治体のあるべき姿で、今の町の文化活動や公民館活動

検討委員会で
具体的な計画を協議

町長 第三次総合計画以来25年間にわたって、その計画を位置づけてきた。1つには文化芸術の振興という観点。2つ目には、町の社

会教育活動の拠点整備という観点を踏まえて、これから検討委員会を重ねていく中で、具体的な計画を練っていく。

会教育活動の拠点整備という観点を踏まえて、これから検討委員会を重ねていく中で、具体的な計画を練っていく。

休憩室

REST ROOM



浦野 敏行
(本郷江原・29区)

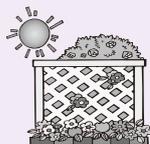
感動

昨年の事です。我が家の除草をしていたとき、変な雑草が生えてきたと思ひ、抜いてしまおうと思ひました。待てよと思ひ、そのままにしたところ、なんと綺麗な花が咲いているではないですか。そのとき思ひたことは、なんて綺麗で魅惑のある花なんだろうと心から感動してしまいました。芍薬しやくやくでした。

今年も、まだかまだかと待ちに待って、開花した時は、またまた感動してしまいました。「おりひめとひこぼし」ではないですが、毎年心を癒してくるような楽しみにしたいと思います。

花には鳥が種を落としたりしたもの、店で見れば買ったもの、頂いたものといろいろありますが、いずれも、生きたいと言葉を花が話しかけてくるような気がしてなりません。

生まれてからずっと邑楽町在住ですが、感動する心を大切にしていきたいです。



があるのだろうか。もう少し身の丈に見合った、町の実態に即した、コンパクトな公民館でいいのではないか。そんなに豪華なものをつくる必要はないと思うが、町長の考えは。

町長 確かに今日の経済状況、先行きを見たときは、不透明な部分があるのはそのとおり。それを踏まえて慎重に対応していくことは言うまでもない。しかし、他市町と比べた場合、果たして邑楽町の社会資本整備が充実されているかと考えたときには、この事業を行う必要があると思う。豪華

なものでもなくても、十分公民館としての文化活動、社会教育活動が充実できる施設であればよいと思う。面積の話も、今ある邑楽町公民館と比較して、端的に言ったものである。従って、その検討結果を十分反映するということはそのとおりで、敷地や予算の部分は検討委員会の協議であるが、決定するのは町であり、教育委員会の仕事の分野に入るの

で、ご理解をいただきたい。

その他の一般質問

・震災がれきの受け入れについて

町長の行政運営と町の経済の考え方について

小島幸典議員 町の借金は約92億円で、一人約34万円である。貯金の財政調整基金は約17億円。税の滞納が約3億7200万円。国民健康保険、後期高齢者医療と介護保険の特別会計予算は、平成23年度に比べ、約

2億4000万円の増であり、町民一人あたり約8900円になる。町長は、提案事項である中央公民館15億円の巨額費用の捻出をどう考えているか。
町長 建設の財政計画として、約15億円の費用をべー

スとし、検討委員会で議論が詰まれば、金額の増減は当然ある。財源は、財政調整基金、公共施設等整備基金があり、起債や一般会計の事業運営の中での公民館事業に充てる財政負担を考

休憩室

REST ROOM



飯島美絵
(十三坊塚・6区)

変わらぬ良さが必要な変化

10歳、小学校5年生の時、隣町から引越してきた私は、この町が好きではありませんでした。

遠くから来たわけでも、都会から来たわけでもありませんが、なんだか田舎に思えて、町も暗く活気も感じられず、子ども心に寂しく思えました。

24年経った今、住まいも職場も邑楽町、仕事帰りに出掛けなければ、私の一日は邑楽町で終わります。

子どもの頃と比べると、少しお店も増えたりりましたが、ほとんど変わらぬ風景。学生の頃、街灯なき暗い道、心細く帰った道もあります。

都内からの外の風景、暗くなるのが寂しく感じていたのが、今では何だかほっとする思いで帰ります。

変わらぬ良さもあるから居心地もよく、今も住んでいるのですが、町の核となる新しい若い力の変化で、いい方向に変わったらいいなと思います。



を組み、事業も計画した。逸脱してやる考えはない。

小島幸典議員 施政方針や予算説明書がすばらしいから私は賛成した。国保税、介護保険料、後期高齢者医療保険料を年間約2億4000万円、町民から余計に頂かないと経営できない。どんだん箱物をつくれれば夕張市みたいになる。簡単に財政調整基金があるから、施設をつくるのだと誰と相談したのか。

町長 総合計画の中に盛り込まれ、大変な年数が経った。施設を希望する町民の請願陳情が出されている。

小島幸典議員 署名は、経済成長が華やかなころと思う。現時点では町民の総意が必要だ。舞台よりも家庭の方が大事だ。子どもの出生率が60%に下がっている中、公民館の利用者数も激減している。マイナスの遺産を子ども達に残すことは非常に不謹慎だ。建設したときのランニングコストは計算しているのか。全国の

労働者の20%の人が200万円前後の年収で暮らしている。5、6年積立ててやることを検討できないか。

町長 小・中学校で群馬交響楽団の演奏を聞く場等、次代を担う子ども達のためにも建設することは必要だ。

小島幸典議員 積み立てはしないと、ランニングコストにも答えていない。

未開通の幹線道路19号線の早期供用開始を

小沢泰治議員 幹線道路19号線については、町長の問題発言等地権者との対応のまずさから、結果として4年間も無駄にしてしまった。町長が同席しては調印しないということもあり、町長抜きで、私を信頼して、地権者と当時の土木課長と係で、23年度中に強制収用ではなく、地権者の意に沿う形で通常の契約となった。そのことについてぜひ町長

費用対効果を十分心がける

町長 費用対効果を十分生むような運営に心がける。その他の一般質問

- ・ 公共施設相互利用について
- ・ 中野小学校プールについて
- ・ がれき処理について

の本気の気持ちを一言聞きたい。

町長 この問題については、大きく地権者の理解が得られたということであり、議員皆さんの大きな力をいただいたということが背景にある。議員の皆さん、そして地権者にお礼を申し上げます。

小沢泰治議員 平成23年度中に地権者との契約が終わり、平成24年度予算措置してあると思うが、その事業をどこまで執行するのか単刀直入に、担当課長に聞きたい。

都市建設課長 平成24年度の工事については、明野住宅団地北の交差点から道路延長120mの道路舗装工事、歩道舗装工事、側溝工事等を予定している。

小沢泰治議員 町長が正常ではない状態で町長になったため、4、5年間野ざらしにしてしまいい、一層目の舗装ができた部分が非常に劣化してしまつた。交差点部分以外第一層までではできるといふことで、皆さんも町民と接していただければと思う。そこで商工会の事務局長も務めた副町長に、

経済効果等について、副町長としての思いを聞きたい。

副町長 19号線開通により、例えば商業では大型ショッピングセンター等をはじめ、地元の商店、飲食店にとつても経済効果は大きなものが見込める。また、新中野にある追浜工場を吸収した自動車関連工場にとつても、渋滞する足利・邑楽・行田線を避けて利用でき、利便性と経済効果がより発揮で



町道幹線19号線

議会の動き

5月

8日～9日

群馬県町村議会議長会臨時総会、議長・事務局
局長研修会

10日 全員協議会

15日 館林邑楽地域市町村懇談会

16日～18日

産業福祉常任委員会視察研修

25日 西邑楽土地開発公社理事会

28日 大泉町外二町環境衛生施設組合執行部議会合
同協議会

29日～30日

全国町村議会議長会議長・副議長研修会

31日 議会運営委員会、総務教育常任委員会

6月

1日 産業福祉常任委員会、全員協議会

4日 邑楽館林医療事務組合全員協議会、臨時会

11日～15日

6月定例会

(本会議、議会運営委員会、各常任委員会、全
員協議会、広報委員会)

25日 邑楽館林地域施策推進協議会

26日 大泉町外二町環境衛生施設組合執行部議会合
同協議会、臨時会

27日 館林地区消防組合水防協議会

28日 太田市外三町広域清掃組合議会全員協議会、
臨時会

7月

1日 邑楽消防団班対抗ポンプ操法競技大会

3日 広報委員会編集会議

5日 館林地区消防組合議会臨時会

12日 広報委員会校正会議

18日 東毛広域市町村圏振興整備組合全員協議会
産業福祉常任委員会

19日 議会運営委員会、全員協議会

きるものと考えている。

小沢泰治議員 町長、いつ
までに完成させたいか。

できるだけ早く

供用開始

町長 できるだけ早く供用
開始できるように努めていき
たい。

小沢泰治議員 都市建設課
長に、おおよそわかったら

聞きたい。

都市建設課長 平成25年に

ついては、中央保育園北の
道路交差部分まで改良し、
一部供用開始をしたい。平
成26年度については、12
2号線の取りつけ部分まで
完成させ、平成27年3月ま
では、全線供用開始を予
定している。

その他の一般質問

・子育て施設児童館・保育
園の建て替えについて

議会を傍聴しましょう

今回の定例会は、

9月7日から19日

を予定しています。

(開会は原則、午前10時)

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけで
どなたでも傍聴できます。

役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、
本会議の様態を中継していますので、お気
軽にご覧ください。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記
録したものは、図書館、邑楽町公民館、産
業研修会館(長柄公民館)、勤労青少年ホーム
(ヤングプラザ)に置いてあります。また、
ホームページにも会議録全文を掲載してい
ますので、ご覧ください。

URL [http://www.town.ora.gunma.jp/
chosei/gikai](http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai)

詳しくは、議会事務局まで

☎88-5511(内線300)



わたしのふるさと

【岩手県北上市更木町】

澤田 八郎
(新中野・33区)



北上郷土芸能「鬼剣舞」

「匂い優しい北上の」で始まる北上夜曲で歌われている岩手県北上市が私の故郷です。岩手山（岩手片富士）の嶺を源とする大河北上川が市街地の東側を滔々と流れ、岸部1キロメートルにわたり1万本の桜が4月末に一斉に咲き誇り、大変な人出となります。

また、北上市周辺に伝わる「念仏剣舞」は大同年間（806～810年）に羽黒山の法印・善行院荒沢鬼渡大明神で、悪霊退散・衆生済度の念仏踊りとして伝えられたのが始まりと云われています。今は「鬼剣舞」と云われています。

8月の初めに北上郷土芸能祭りが催され、県内外より獅子踊り等いろいろな団体が集まって繰り広げられますが、やはり一番は鬼剣舞。鬼面をかぶり、身ごろに胸当て、赤たすきをかけ、腕には鎖かたびらに手甲、それで太刀を持ち、頭髪を振り乱し、笛太鼓に合わせ、飛んだり跳ねたりして勇壮に踊ります。一度は見に行ってください。

交通は東北新幹線か東北自動車道、どちらも北に向かって400キロメートルです。岩手県に入って、一関・平泉・水沢・北上と一本道ですのでわかりやすいです。北上郷土芸能祭りに行ってらっしゃい。

編集後記

梅雨の季節になりました。しかし、昔のように「雨はしとし」と言う感じはしません。ゲリラ豪雨があつたかと思えば真夏日といったように、いつもとちよつと違うようです。地球規模の気候変動でしょうか。

さて、6月議会では10人の一般質問者のうち、震災・防災に関する質問が6人からありました。件数の多さもあつてか、震災を気にするようになりました。

6月26日に、新潟県の小千谷震災ミュージアムを見学しました。ここでは、震源の深さ13キロメートル、最大震度7の直下型地震の記録が克明に展示されており、各地から沢山の見学者がありました。ぜひ見ていただきたい所です。

最近の報道で、都市直下型地震の危険性が叫ばれています。自らの命をどうやって守るか。そして地域の防災はどうするか。この機会に震災対応を真剣に考えてみませんか。

(坂井記)